

# 指定管理者更新に係る検証シート

## 1 施設及び指定管理者の概要

施設名	愛媛県武道館	施設所管課	観光スポーツ文化部スポーツ局地域スポーツ課
設置年月日	平成15年10月1日	耐用年数	50年
現指定管理者名	公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団	現指定期間	平成31年4月～令和6年3月(5年間)
これまでの指定の状況	第1期:平成18年4月～平成21年3月(3年間)、第2期:平成21年4月～平成26年3月(5年間)、第3期:平成26年4月～平成31年3月(5年間)		

## 2 検証のための指標の推移

### (1) 利用者数

	平成17年度 (制度導入前年度)	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	312,595 人	311,969 人	330,899 人	123,877 人	147,179 人	250,000 人 (145,978 人)
対制度導入前年度比			105.9 %	39.6 %	47.1 %	80.0 %
対現指定期間前年度比			106.1 %	39.7 %	47.2 %	80.1 %

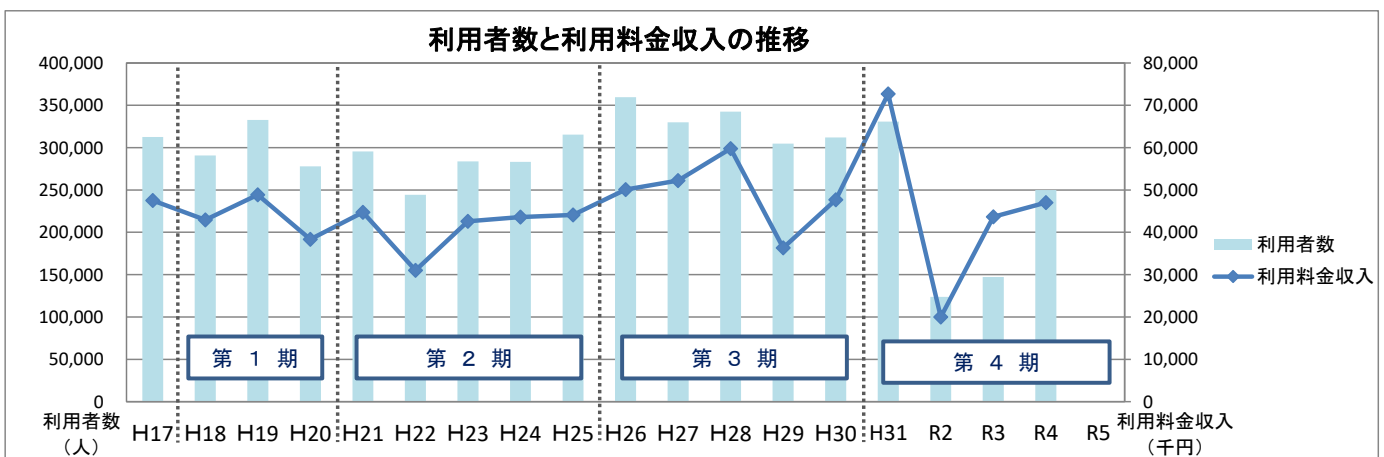
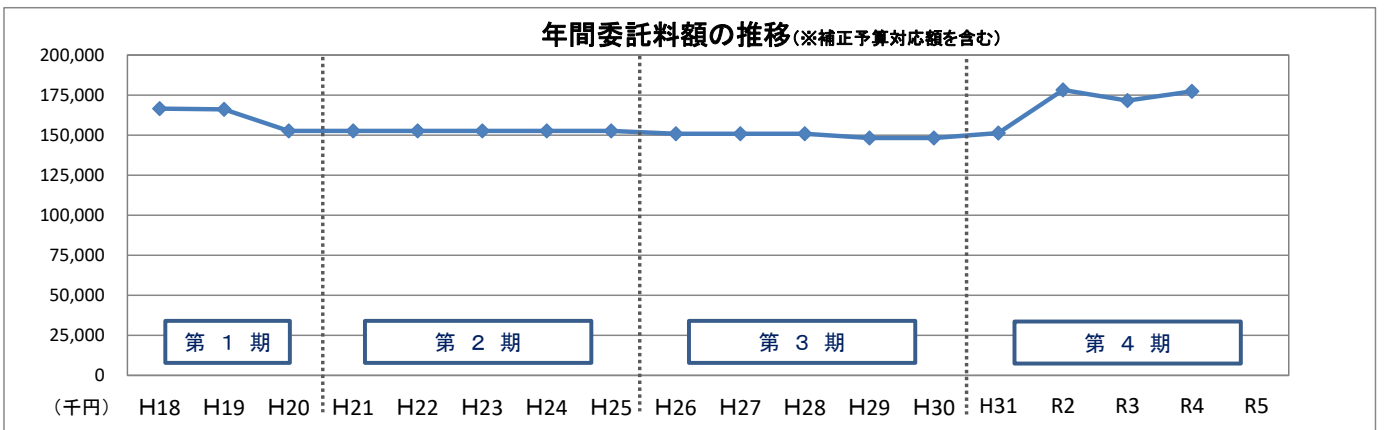
(※)令和4年度については、上段に年間見込数を、下段( )内には令和4年10月末までの実績数を記載。

### (2) 収支状況

	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度※1
収(入)	206,961 千円	235,611 千円	204,306 千円	220,856 千円	232,741 千円
委託料	148,192 千円	149,452 千円	148,826 千円	147,590 千円	147,590 千円
委託料(補正予算対応額)※2	— 千円	1,860 千円	29,347 千円	23,891 千円	29,795 千円
利用料金収入	47,682 千円	72,702 千円	19,982 千円	43,658 千円	47,000 千円
その他の収入	11,087 千円	11,597 千円	6,151 千円	5,717 千円	8,356 千円
支(出)	202,011 千円	232,928 千円	204,306 千円	220,895 千円	232,572 千円
収(A) - 支(B)	4,950 千円	2,683 千円	0 千円	▲ 39 千円	169 千円

(※1)令和4年度については見込み額を記載。

(※2)新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、補正予算で増額した委託料を記載



### (3) 経費削減のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 日中の照明は自然光を積極的に利用するとともに、照明器具の計画的なLED化等による省エネ対策を実施し、利用環境整備を行った。
- 利用者に省エネの協力を呼びかけ、冷暖房の適正温度の設定に協力を求めた。また自然換気を積極的に取り入れるなど光熱水費の削減に取り組んだ。
- 警備委託業務・清掃委託業務・設備保守点検業務については長期継続契約を結ぶことにより委託料を削減することが出来た。
- 施設保守管理に係る外部委託については、年度ごとに内容を見直すとともに、空調・消防・給排水衛生設備を一元化して契約することで経費削減を図った。
- 令和3年度から1課1係として組織のスリム化を図ることにより、職員定数より減員し、人件費の削減に努めた。

### (4) サービス向上のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 全職員を対象に接遇研修を実施し、施設の利用者満足度の向上を図った。
- 大規模大会等の開催時には正面駐車場に臨時警備員を配置し、また松山市所管施設とも連携して利用者の利便性の向上に努めた。
- アンケートボックスを設置し、利用者の意見・要望に応えるサービスの提供を図った。
- 自動体外除細動器(AED)を設置し緊急時の体制整備に努めた。
- 武道館公式SNS(Twitter,Facebook,YouTube,LINE)の運用を開始し武道館に関する様々な情報を利用者に配信した。
- 大会やイベント等のインターネットを使用した配信や会議などの利便性を向上させるため各道場・諸室の無線インターネット環境を構築した。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、感染防止のための情報の発信や大会時に他会場の進行状況などを諸室で確認できるようにデジタルサイネージの整備を行い、利用者の利便性の向上を図った。

### (5) コロナ禍における感染対策や利用者確保のための主な取組み

- 愛媛県武道館における吸気式冷温水機を改修し、館内全体空調機能の向上を図った。
- 柔道場に新型コロナウイルスの不活性化に有効な空調設備(オゾン発生装置)を設置し、感染拡大防止を図った。
- 不特定多数が入りやすい1階入口等にサーマルカメラを設置し、利用者の検温を効率的に実施した。
- 換気効率が低い部屋に光触媒除菌空気清浄機を設置し、感染リスク低減を図った。
- 空調機の改修及び換気パネルの交換など十分な換気が行える環境の整備を行うことで感染リスクの低減を図り、利用者が安心して利用できる施設の管理・運営に取り組んだ。
- デジタルサイネージを設置し、大型映像装置からの映像をサイネージに配信し、進行状況確認等を行うことが可能になるほか、新型コロナウイルスに関する情報などを発信することで感染リスク低減を図った。
- 試合の様子を配信するためWi-Fiネットワークを構築し、無観客試合や人数制限の有観客試合を促進し、感染リスクの低減を図った。
- QRコード対応型券売機や簡易ゲートシステムを設置することで、トレーニング室入退管理の無人化を図り、職員との接触機会を減らし、感染リスクを抑えた。

## 3 次期更新に向けての評価等

### (1) 現指定期間における指定管理者制度の導入効果の検証

<p>利用拡大の観点から (利用者数、利用料金収入)</p>	<p>平成31年度末に新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから、全館休館などの利用制限を行うなど厳しい運営が続いているが、徐々に社会活動との両立といった動きが始まり利用者、利用料金収入ともに右肩上がりが増加していることは評価できる。大きな収入源となっているコンサートなども開催しており、新型コロナ前の水準まであと一歩といふところまで戻ってきているので、令和5年度は更なる営業活動により平成31年度の水準を目指して欲しい。</p>
<p>効率化の観点から (経費削減)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により対応業務が増える中、外部委託料の削減や光熱費の削減等、経費削減に取り組むとともに自主事業やイベント等の誘致にも努めており、指定管理導入の効果がみられる。 また、QRコード対応型券売機、簡易ゲートシステムの導入により、トレーニング室の入退管理の無人化を図るほか、令和3年度からは組織のスリム化を図り人件費を削減している点も評価できる。</p>
<p>利便性・サービスの向上の観点から</p>	<p>緊急時対応用にAEDを設置したほか、新型コロナウイルス感染症対策として、換気設備、館内空調設備、トレーニング室の入退管理システム、AIサーマルカメラ、光触媒除菌空気清浄機、Wi-Fiネットワークの整備を行い、安全に利用できる環境の整備を行った。 また、武道館公式SNSの運用を開始し、登録者に武道館の情報を発信するサービスも提供している。 利用者アンケート調査によれば、施設利用料については約93%の利用者から「適当」または「安い」という回答結果、職員の対応については約93%の利用者から「非常に良い」または「良い」という回答結果で非常に評価できる。</p>
<p>その他の観点から (前指定期間と比較して特筆すべき成果、利用者等の安全性の確保、収入確保に向けた取組みの状況(広告事業等)、その他協定の履行状況など)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対策について、スポーツ庁の社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに基づく利用方針の策定、県による県有施設の利用方針への迅速な対応など評価ができる。</p>

### (2) 次期更新に向けての方針及びその説明

愛媛県武道館は、本県の目指す「スポーツ立県」実現のための中核施設として、平成15年10月1日に開館したもので、機能性の高さ(浮上式柔道用床転換システム)は世界初のシステム)、規模の大きさ(日本武道館、東京武道館と並ぶ世界最大級の規模)、木を始めとする県産品(内装・外装に県産品を活用した「愛媛らしさ」)、アクセスの良さ(施設のそばには駅やバス停留所、タクシー乗り場)どれをとっても世界に誇る施設となっている。

現指定管理者による管理運営については、利用者アンケートの結果、93%以上の利用者から職員の対応が良いという回答を得ており、利用者の満足度が高いことがわかる。管理運営費についても、施設保守管理費の削減や光熱水費の節約に積極的に取り組んでおり、指定管理者制度導入後、委託料を2割以上削減していることから、同制度の導入効果があったものと判断できる。

引き続き、指定管理者により、武道その他のスポーツの振興を図るとともに、広く県民の心身の健全な発達に寄与するために必要なスポーツ行事の実施、県民の体力の保持及び増進に関する指導、施設の適切な維持管理を行うことが必要である。